

米共和国の秩序ある継続は、主流メディアの即刻の停止い かに懸っている

【訳者注】これは State of the Nation が、前の論文の論旨（主流メディアの犯罪性）を継ぎながら、トランプ政権に向かって直接、具体案を提言している。それは、クリントン一派やソロス、それに CIA の企んでいる“紫革命”（クーデタ）に対抗するためである。クーデタの計画があるだろうとは一般に言われているが、彼らの手の内や近未来まで読み取ることのできる人は、この論者しかいないのではなかろうか？ 過去のあらゆる「カラー革命」の事例をはじめ、縦横のアメリカの諸問題についての詳細な研究から、それが割り出せるのだと思われる。

SOTN (State of the Nation)

February 9, 2017

トランプ政権への公開書状

アメリカ国民は、ドナルド・トランプの就任以来、メディアの内部で、これまでに例のない血で血を洗う劇にほかならないものを目撃している。実際この流血は、2016年の初期に始まったのだが、彼の選出以来、その野蛮さはますます激しさを増している。

この画期的な争いの当事者が共に、血まみれになっている。歴史的事実として、メディアがこのような激しい言葉で戦ったことは、この地球のどこにもなかった。

主流メディアは腹の中では、自分たちが確実に敗北に、そしておそらくは消滅に、直面していることを知っている。

代替メディアは、真理を止めることができないことを知っている。そして彼らは歴史の正しい側にいる。

非常にゆっくりと苦しみながら、あるいは非常に速やかに簡単に

戦場にいる誰にとっても、この戦争は悪化する一方で、どこまでも悪化することは、見えて
いるはずである。それはある種の全面的な内乱へと発展するだろう。これこそまさに、(ジ
ョージ) ソロスから資金を得ている党派の者たちが望むものである。もしソロスの一統がホ
ワイトハウスを占領できなければ、誰もそうする者はいないと、彼らは考えている。確かに、
これら一度は閉じ込められたボルシェビキどもは、捕虜は取らないという方針には同意し
ている。

このリベラルたちの、切ったり火傷を負わせたりする戦略は、ますます醜いものとなる一方
だから、怪我人は出る。おそらく何千という人々が、必然的にこの戦争行動に巻き込まれ、
多くの人が死ぬか重傷を負うだろう。

だから、現実の問題はこういうことになる：――

**トランプ政権は、いつ、政府やメディア内部の重罪や過失の中でも、国家反逆罪を犯してい
る証明された犯人たちに対して、然るべき行動を取るのか？**

“オバマ国家” 解体の今続いている過程は、多くの者にとって非常にゆっくりした苦しいも
のにもなり、真の犯罪者を除く大多数の者にとっては、速やかで簡単なものにもなり得る。
真の犯罪者とは？

まず手始めに、バラク・オバマ、ヒラリーとビル・クリントン、ジョー・バイデン、ティム・
ケイン、ジョン・ケリー、ナンシー・ペロシ、ハリー・リード、チャック・シューマー、マ
クシン・ウォータース、ジョン・ルイス、ビクトリア・ヌーランド、ポール・ライアン、ジ
ョン・マケイン、リンゼイ・グレアム、などはすべて即刻逮捕されるべきである。公的な領
域だけでも、これら裏切者の一人ひとりを、大逆あるいは扇動罪で起訴すべき十分な証拠が
ある。任命と承認の過程を経て、ほぼ完全に、トランプ政権の骨格を肉付けする必要はある
が、主流メディアを閉鎖し、メディアを所有し操っている CIA を終わらせること以外に、
その代替案はない。

この国家的ページ (追放) のもう一つの決定的な手段は、ソロス陰謀団のために働いている
ことが証明された、連邦議会のすべてのメンバーを逮捕することである。彼らは、どんな前
へ出たがる動きがあっても、国家全体に権力と影響力を及ぼすすべての地位から、遠ざけら
れねばならない。



前国務長官ヒラリー・クリントン、ビル・クリントン、チェルシー・クリントン、ティム・ケイン、およびアン・ホルルトンは、2016年11月9日、ニューヨーク市にて、敗北宣言を利用して“紫革命”の始まりを告げた。

進行中の“紫革命”



ヒラリーの襟の折り返しと2人の男性のネクタイが紫であることが、よくわかる。これは選挙には敗れても、アメリカの“王家”は降りないという意思表示だと、筆者は別のところで言っている。

確かに、トランプ政権の誰もが、この進行中のクーデタのソフトな局面に深く巻き込まれていて、それは誰にとっても無事に終わるものではないことを、理解している。

それはクリントンの名付けた“紫革命”として知られており（下の添付文書参照）、彼らは本当にあなた方の隠れ家を見つけようとしている。

もしあなた方が、この政治的に不都合な真実が理解できなければ、次のような正直な言い方で彼らの意図が分かるだろう——彼らは今すぐにも、あなた方すべての権力を奪おうとしている。万一、彼らがこの扇動に成功するようなことがあれば、彼らは何をするか分かったものではない。おそらく、ボルシェビキ革命時のロマノフ王家の暴力的な運命が、いくらかのヒントになるだろう。

この革命のソフトパワーの段階では、裏切者たちは、あなた方すべてを縛り付けておかなければならないことを知っている。これこそ、まさに彼らがやってきたことで、ますますひどくなる分断と暴力の行為と共に、これからも続けるであろう。トランプ大統領の就任式で彼

らが何をやったか見るがよい！

この“紫革命”は、誰一人この地上で見たことも経験したこともないものになることを、どうか承知しておかれない。それは何十年もかけて計画され、考え抜かれたもので、現代社会では決して演じられたことのない脚本に従っている。この事実だけでも、ある超秘密兵器として働いている。

実は現在、あまりにも多くのことが背後で起こっているのですべての善良な人々のなし得ることは、世界中で起こされた、過去の 20 のカラー（色）革命をよく観察することである。これらの一つひとつは、社会的なネットワークを、注意深く利用することによって行われている。フェイスブックによる革命、ツイッターを利用した内乱、ユーチューブを通じてなされる抗議、インスタグラムを使って起こす暴動、といったものが CIA、NSA、DIA（米国防情報局）、そしてもちろん国務省にとって、必須の道具となっている。

したがってここで、最も肝要で、コツを要する問題は、トランプ政権が、わずかの予告期間で、すべての社会的ネットワークを完全に接収することのできる、絶対に間違ふことのない装置を準備計画すべきだということである。また同時に、現在、地下に潜って活動している、すべての隠れた社会ネットワークも、すべて同定できる方法をもつべきである。これらは本当に危険であり、“紫革命”が本格的に始まった、ホットな段階で活躍するであろう。中東やその向こうでも、こうした密かな通信の場が隠れて利用された。

ツイッターは、大統領が 2015 年 7 月に、立候補を初めて表明したとき以来、十分に役立ってきたとはいうものの、この非常に目立つ交流の場は、あっという間に消されてしまうことがある。シリコン・バレーの帝王たちは、ドナルド・トランプに友好的でないすでに証明している。彼らが象徴するもののすべてが、“オバマ国家”と一致しており、したがって、トランプ運動の価値や原理と相容れるものではない。そこで、トランプのツイッターのアカウントは、キーを押すだけで消されてしまうだろう。

我々は自分の立場を明らかにしたか？

明らかに、この CIA に統制されている“紫革命”には、こんな短い公開書状では取り上げられない、遙かにもっと多くの事実が含まれている。しかし、我々がどうしても提案させてほしいことは、トランプ政権が、この進行中の“紫革命”に対処するための、特別の計画を公的なものにする任務を帯びた、臨時の委員会を設けることを真剣に考えよ、ということである。ついでに言えば、そのような緊急の行動を取ることは、この時点ではもはや強制されている。本当に他に選択肢はない。これらウルトラ・リベラルな、ニセ進歩的な、超左翼ボ

ルシェビキたちは、何とか策を弄して、本当にあなた方をつけ狙っている。

実は、人民の皆さんが、もしそう言ってよければ、“影の政府”になるという、今や緊急となった事態を考えるべきなのである。それは効果的に、完全にレーダーの届かぬところで、機能することができる。密かに働くことによるのみ、急速に極悪化していく“紫革命”にうまく対抗する、必要な仕事が可能となる。

最後のポイント、そしてそれは、主流メディアを合法的に閉鎖させることのできる法的根拠であるが、それは——**国家反逆罪**である。文字通り何百人という、企業メディアの最高の地位を占めるお偉方がいて、彼らは、9・11 ニセ旗テロ攻撃として知られている自作自演劇を、自らの意志で共謀して隠ぺいした。次のように——

<http://stateofthenation2012.com/?p=7293> (9・11 裁定：主流メディア、米歴史上最大の隠ぺいに有罪)

もしこの犯罪的企業の行為がまだ十分納得できないというなら、おそらく次の暴露事実が、主流メディアがアメリカ人民に対して犯した、何十年間もの裏切りに光を当てるであろう。

<http://stateofthenation2012.com/?p=50948> (主流メディア：真の人民の敵)

もし我々が、これでもあなたの注意を引き付けなければ、永久にそれはないだろう。望むらくは、これら非常に現実的で正確な観察事実と、丁寧な推薦文が、聞こえぬ耳と見えぬ目に落ちることがないように願いたい。

本当に、アメリカ共和国の将来そのものが、今、危ない状態で宙にぶら下がっている。同様に、アメリカ人民の運命もまた、ひとえに、これら差し迫った危険と、不気味な姿を見せている脅威に、決然と応えようとするトランプ政権の意欲にかかっている。

あなた方に神のご加護のあらんことを。

心をこめて、

関心を抱く米国市民より

2017年2月9日

添付資料：

<http://stateofthenation2012.com/?p=56307> (警告：紫革命がアメリカにやってくる)

<http://stateofthenation2012.com/?p=56234> (グローバリストがアメリカに向かって“紫革命”を発射)

<http://stateofthenation2012.com/?p=56078> (ソロスの“紫革命”がトランプ政権に対して醸成中)

<http://stateofthenation2012.com/?p=56237> (クリントン夫妻とソロスがアメリカの紫革命を始動)

<http://stateofthenation2012.com/?p=63468> (進行中の紫革命)